

生態リスク初期評価 再評価物質の新旧結果（再評価を実施した6物質を再掲）

番号	物質名 [CAS番号]	前回の評価結果									第17次とりまとめ評価結果 ^(注1)										
		有害性評価（PNECの根拠）			アセスメント係数	予測無影響濃度 PNEC (µg/L)	公共用水域	予測環境中濃度 PEC (µg/L)	PEC/PNEC比	総合的な判定 ^(注2,3)	とりまとめ	有害性評価（PNECの根拠）			アセスメント係数	予測無影響濃度 PNEC (µg/L)	公共用水域	予測環境中濃度 PEC (µg/L)	PEC/PNEC比	総合的な判定 ^(注2)	変更概要
		生物種	急性/慢性	エンドポイント								生物種	急性/慢性	エンドポイント							
環境9	ピペラジン [110-85-0]	甲殻類 オオミジンコ	慢性	NOEC 繁殖阻害	100	330	淡水 — 海水 —	— —	— —	×	第4次	甲殻類 オオミジンコ	急性	EC ₅₀ 遊泳阻害	100	210	淡水 — 海水 —	0.022 0.023	0.0001 0.0001	▲	新しい水質調査結果を入手し、PECが設定された。 生態毒性に関する知見を新たに入 手し、PNECは変更された。 評価結果は、「更なる関連情報の 収集に努める必要がある」とされ た。
環境10	ヘキサメチレンジアミン [124-09-4]	甲殻類 オオミジンコ	慢性	NOEC 繁殖阻害	100	42	淡水 — 海水 —	— —	— —	×	第4次	甲殻類 オオミジンコ	慢性	NOEC 繁殖阻害	100	41	淡水 — 海水 —	2.7 ＜0.0043	0.07 ＜0.0001	▲	新しい水質調査結果を入手し、PECが設定された。 生態毒性に関する知見を新たに入 手し、PNECは変更された。 評価結果は、「更なる関連情報の 収集に努める必要がある」とされ た。
環境11	ヘキサメチレンテトラミン [100-97-0]	甲殻類 オオミジンコ	急性	EC ₅₀ 遊泳阻害	1,000	36,000	淡水 — 海水 —	— —	— —	×	第2次	—	—	—	—	—	淡水 — 海水 —	65 —	— —	○	新しい水質調査結果を入手し、淡水 域のPECが設定された。 生態毒性に関する知見を新たに入 手し、PNECは設定しなかった。 評価結果は、「現時点では更なる 作業の必要性は低い」とされ た。
環境12	ベンゾフェノン [119-61-9]	甲殻類 オオミジンコ	慢性	NOEC 繁殖阻害	10	20	淡水 — 海水 —	0.31 0.02	0.02 0.001	○	第6次	甲殻類 オオミジンコ	慢性	NOEC 繁殖阻害	10	20	淡水 — 海水 —	0.038 0.0082	0.002 0.0004	○	新しい水質調査結果を入手し、PECが 変更された。 生態毒性に関する知見を新たに入 手したが、PNECの変更はなかつ た。 評価結果は、前回からの変更はな く、「現時点では更なる作業の 必要性は低い」とされた。
環境13	メタクリル酸2,3-エポキシ シプロビル [106-91-2]	甲殻類 オオミジンコ	慢性	NOEC 繁殖阻害	100	10	淡水 — 海水 —	— —	— —	×	第3次	甲殻類 オオミジンコ	慢性	NOEC 繁殖阻害	100	10	淡水 — 海水 —	— —	— —	○	新しい水質調査結果は得られず、PEC は設定できなかった。 生態毒性に関する知見を新たに入 手したが、PNECの変更はなかつ た。 評価結果は、「現時点では更なる 作業の必要性は低い」とされ た。
生態3	ブロモホルム [75-25-2]	魚類 キプリドン属	慢性	NOEC 死亡	100	48	淡水 — 海水 —	— —	— —	×	第2次	藻類 緑藻類	急性	EC ₅₀ 生長 阻害	100	2.4	淡水 — 海水 —	— —	— —	▲	新しい水質調査結果を入手したが、 PECを設定できるデータは得られな かつた。 生態毒性に関する知見を新たに入 手し、PNECは変更された。 評価結果は、「更なる関連情報の 収集に努める必要がある」とされ た。

(注1) 表中の網掛けは、前回評価結果からの変更箇所を示す。

(注2) ○：現時点では更なる作業の必要性は低い、▲：更なる関連情報の収集に努める必要がある、▲：既存の関連情報を総合的に勘案して判断すると更なる関連情報の収集に努める必要がある、■：詳細な評価を行う候補、■：既存の関連情報を総合的に勘案して判断すると詳細な評価を行う候補、×：現時点ではリスクの判定はできない。

(注3) 総合的な判定は、第15次とりまとめまでは「評価結果」という項目名で表記されている。